

一般質問

一般質問は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から会議時間短縮のため、議場で行わず、書面による答弁としました。



石田 貢 議員

第4次まちづくり総合計画の評価と第5次の策定状況は

Q これまでの進捗状況を踏まえ、まちづくりをどう評価しているか。
A 宮口町長
住民と行政が「共に支えあい、人と自然にやさしい、活力あるまちづくり」を基本姿勢として取り組んだ。令和元年10月に実施した、町民アンケート調査の中で、「豊

頃町に愛着を感じている」と回答した方が75%、「これからも豊頃町に住み続けたい」と回答した方が70%となっていることが、これまで10年間の取組の評価である。

Q 第5次豊頃町まちづくり総合計画の策定にあたりどのようなまちづくりを描こうとしているか。
A 宮口町長
第3次および第4次豊頃町まちづくり総合計画で定めた「やさしさと躍動のふれ愛タウンとよこる」を踏襲する。運用の基本的な考え方は、国内外を取り巻く社会経済情勢の変化が早い時代であり、不確実な未来に対応できるよう、町政の方向性を共有しつつ、戦略的で機動的に見直しながら運用できる計画とする。

Q 本施設の再開目途の進捗状況は。
A 宮口町長
令和元年9月に出店について申入れのあった法人と基本協議を重ね、令和2年2月に出店に関して同社から基本提案があった。今後は店舗内に関する計画を策定し、賃料など具体的な数字を挙

産業活性化施設(旧スーパーアグリ店舗)の再開は

Q 本施設の再開目途の進捗状況は。
A 宮口町長
令和元年9月に出店について申入れのあった法人と基本協議を重ね、令和2年2月に出店に関して同社から基本提案があった。今後は店舗内に関する計画を策定し、賃料など具体的な数字を挙

げたうえで協議を継続する。労働力確保が最大の課題となるため、町としても積極的に協力していきたい。



大崎 英樹 議員

令和2年度予算案関連施策は

Q 地域商社ココロッコに係る関連予算が計上されているが、地域商社の現状と今後の方向性は。
A 宮口町長
地域における構造的な問題解決のため、平成30年3月に設立した「地域商社ココロッコ」は、令和2年度は町からの運営支援補助金、推進プロジェクト補助金、まちなか活性化拠点施設管理委託料を財源とし、互産互生事業を基軸に法人の定款に定める事業を展開する予定。令和元年度からは農山漁村振興交付金を受け、地域産品のブランディング等を検討する「6次化プロジェクト」やモニターツアーを実施しつつその可能性について検討する「ツ



ココロコテラス

リズムプロジェクト」を行い、町内産品の新たなパッケージ作成や地元の食材を用いた料理レシピ本作成を行うなど、積極的に町を発信しており、令和2年度においても同事業を継続する。今後は公共関連組織・団体の事務受託業務を行うなど、独自運営が可能となるような事務・事業を進めつつ、町内各産業団体や企業、個人からの相談にも対応する。

Q 開町140周年記念事業の基本的な考え方は。
A 宮口町長
平成27年に挙行了した町制50周年記念式典から、期間を経ていないことから、記念式典の開催は予定していない。町功労者表彰式の特別表彰と、110周年記念事業として役場庁舎前庭に埋設したタイムカプセルの開封を行う。予算化した主な内容は、町民芸術鑑賞会

の可能性がある。計画期間中の対象者はいなかったが、過去の経過はすべての女性職員が取得している。男性の対象者はいたが、取得には至らなかった。計画期間が今年度末までとなっていることから、新たな計画について職員衛生委員会策定作業を進めている。新計画の中で数値目標やそれを達成するための取組などを改めて検討し、男性職員が育児に参加しやすい環境づくりに努める。

Q 近年の維持補修だけで業者の経営維持は可能なのか、町内業者の縮小が進むと災害が発生した場合の緊急対応が困難となること予想される。適切な業者育成の予算措置等は。
A 宮口町長
維持補修業務は、施設の管理には欠かせない重要な業務で、町道・農道・林道・河川・明渠など各施設の長寿命化を図るために実施するものである。社会資本整備事業などを活用し、今後も必要に応じて予算の確保に努める。災害時の緊急対応には町内業者の協力が欠かせないものと認識しており、町と豊頃町建設業協会の間で、災害対策に関する協定を締結していることから、育成については、関係団体と連携して進める。

Q 特別養護老人ホームとよこ庄大規模改修事業補助金が計上されているが、町が策定した豊頃町福祉ゾーン整備構想との整合性は。
A 宮口町長
「福祉ゾーン構想」は茂岩栄町を5つのブロックで構成するもので、「はるにれtoyokoro」を中心としたエリアを「高齢者福祉施設ブロック」とし、「特別養護老人ホームとよこ庄」を隣接して建設する計画。しかし、施設を運営する豊頃愛生協会は、町のハザードマップにより水害の危険性があること、施設の移転に多大な経費を要することなどから、現施設を改修して運営したいと考えている。また、災害などにより二次避難が必要となった場合、福祉避難所として被災者を受け入れることが可能なため、財政、防災の両面で現在地での施設改修がより良いものと判断する。

Q 特別養護老人ホームとよこ庄大規模改修事業補助金が計上されているが、町が策定した豊頃町福祉ゾーン整備構想との整合性は。
A 宮口町長
「福祉ゾーン構想」は茂岩栄町を5つのブロックで構成するもので、「はるにれtoyokoro」を中心としたエリアを「高齢者福祉施設ブロック」とし、「特別養護老人ホームとよこ庄」を隣接して建設する計画。しかし、施設を運営する豊頃愛生協会は、町のハザードマップにより水害の危険性があること、施設の移転に多大な経費を要することなどから、現施設を改修して運営したいと考えている。また、災害などにより二次避難が必要となった場合、福祉避難所として被災者を受け入れることが可能なため、財政、防災の両面で現在地での施設改修がより良いものと判断する。

Q 本町における行政職員の育児休業取得率と今後の取組等は。
A 宮口町長
本町では「豊頃町特定事業主行動計画」を策定しているところであり、育児休業の取得率については、女性は100%、男性は10%を目標数値に掲げている。



岩井 明 議員

行政職員の育児休業取得等は

Q 本町における行政職員の育児休業取得率と今後の取組等は。
A 宮口町長
本町では「豊頃町特定事業主行動計画」を策定しているところであり、育児休業の取得率については、女性は100%、男性は10%を目標数値に掲げている。



杉野 好行 議員

町内建設業者の育成と災害対応について

Q インフラへの投資的経費は維持補修が主なものとなっているが、今後の維持計画と年度ごとの予算の見通しは。
A 宮口町長
本町の建設事業は社会資本整備事業などの補助事業が主である。建設事業は、豊頃町まちづくり総合計画に基づき実施しており、維持補修業務については道路・河川・明渠などの

Q インフラへの投資的経費は維持補修が主なものとなっているが、今後の維持計画と年度ごとの予算の見通しは。
A 宮口町長
本町の建設事業は社会資本整備事業などの補助事業が主である。建設事業は、豊頃町まちづくり総合計画に基づき実施しており、維持補修業務については道路・河川・明渠などの

会議の詳細は会議録で定例会や臨時会などの会議の内容は、会議録に詳細に記載されています。ご覧になりたい方は、町ホームページを閲覧されるか、ご質問は、町議会事務局へお問い合わせください。また、議会だよりの感想もお待ちしております。

TEL 015-574-2222
FAX 015-574-3955
(議会事務局直通)